



国の構えは地方から

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

国会議員の不祥事や、外務省の機密費・農水省の狂牛病問題をみていると、国民の感覚から完全にずれていると思わざるを得ない。自衛隊の情報公開請求者のリスト作成や、警察の事件に対する怠慢など言語道断だ。情報公開の一つは、国民の税金が適正に使われているかをチェックすることにある。会計監査院の機能も低下したいま、国民は自ら知る権利があるのだ。

政治家や官僚の体質は、なぜ改善されないのか。それは、現代に至るも日本の権力構造が本質的に変わっていないからではないか。封建時代の士農工商は明治維新によって官尊民卑となり、戦後は主権在民となったが、官尊民卑の思想は根強く残っている。私たちはもはや中央からの改革を期待するのではなく、足元の自治から着実に一歩ずつ進めたほうが賢明だ。国の構えは地方自治から。そのほうがよほど実現可能であり、主権在民も根付くのではなからうか。